

道 路

(高速道路の復旧・整備)

1. 常磐自動車道

- ① 箇所名：常磐自動車道の被災箇所
- ② 供用中区間の被災箇所については、応急復旧により、平成23年4月28日までに旧警戒区域^{※1}にかかる区間（常磐道広野 IC～常磐富岡 IC）を除き一般車両の通行が可能となった。（旧警戒区域にかかる区間は、4月29日までに緊急車両の通行が可能となった。）

※1 平成24年4月1日の区域見直し前の警戒区域

- ③ 供用中区間の被災箇所（常磐道広野 IC～常磐富岡 IC を除く）については、平成24年12月22日に本復旧を完了した。また、旧警戒区域にかかる常磐道広野 IC～常磐富岡 IC については、環境省が実施した除染工事^{※2}と並行して復旧工事に着手し、平成26年2月22日に本復旧を完了した。

※2 環境省が実施した除染工事は平成25年6月に完了、仮置場管理等は引き続き実施。このうち、広野 IC～常磐富岡 IC の既開通区間については、平成26年2月22日の再開通に際し、「除染方針」^{※3}の目標の空間線量率を大きく下回っていることを確認した。

※3 平成24年6月時点の路面上の空間線量率が3.8 μ Sv/h 超～9.5 μ Sv/h 以下および9.5 μ Sv/h 超であった区間を、それぞれ概ね3.8 μ Sv/h 以下および概ね9.5 μ Sv/h 以下とすることを旨とする。

- ④ 整備工事中区間については、相馬 IC～山元 IC は平成26年内に開通させる予定。旧警戒区域にかかる区間の浪江 IC～南相馬 IC についても平成26年内に、更に、残る常磐富岡 IC～浪江 IC については、平成27年のゴールデンウィーク前までに開通させる予定。

(直轄国道の復旧)

2. 一般国道6号

- ① 箇所名：一般国道6号の被災箇所
- ② 応急復旧により、平成23年4月10日までに旧警戒区域を除き通行が可能となった。（旧警戒区域内は、平成23年12月26日までに2車線を確保。）
- ③ 平成25年3月2日に震災による規制箇所は全て解消した。
- ④ 平成25年度内に本復旧が完了した。

(県管理道路の復旧)

3. 県管理道路

○南相馬市エリアの県管理道路

① 道路の状況

避難指示解除準備区域及び居住制限区域内の路線数（県管理道路）	12路線
うち被災した路線（工区）数	12路線 57箇所
うち応急対策を実施した路線（工区）数	1路線 1箇所
うち本復旧を実施する路線（工区）数	12路線 57箇所

② 復旧の予定

被災箇所12路線57箇所のうち、災害査定を52箇所を受検し、27箇所の本復旧を完了した。

残る30箇所については、準備が整った箇所から速やかに本復旧工事に着手している。

本復旧については、地震災は災害査定から概ね3年、津波災は今後策定される復興計画との整合を図りながら災害査定から概ね5年での完了を目指す。

③ 平成25年度における成果

災害査定を受検した52箇所（うち、2箇所は平成24年度完了）のうち、9路線43箇所を発注し、そのうち25箇所について本復旧が完了した。未発注の7箇所は、本復旧工事着手に向けて関係機関と協議を進めた。

④ 平成26年度の成果目標

災害査定未了の5箇所の災害査定及び本復旧工事が未発注の7箇所について、関係機関との調整が整い次第、速やかに受検・本復旧工事に着手する。

⑤ その他

上記のほか、帰還困難区域に1箇所の被災を確認しているが、関係機関と調整を図りながら復旧方針を決定し、優先度の高い箇所から復旧に努める。

○田村市エリアの県管理道路

① 道路の状況

避難指示解除準備区域内の路線数（県管理道路）	1路線
うち被災した路線（工区）数	1路線 1箇所
うち本復旧を実施する路線（工区）数	1路線 1箇所

② 復旧の予定

被災箇所については、平成24年7月下旬から順次災害査定を受検し、平成24年度に本復旧が完了した。

○広野町エリアの県管理道路

① 道路の状況

旧緊急時避難準備区域内の路線数（県管理道路）	6 路線	
うち被災した路線（工区）数	3 路線	5 箇所
うち本復旧を実施する路線（工区）数	2 路線	2 箇所

② 復旧の予定

平成23年に災害査定を受け、地震災の2箇所は平成24年8月に本復旧を完了。
（津波災3箇所は、交付金事業の事業区間と重なることから廃工とする。）

○檜葉町エリアの県管理道路

① 道路の状況

避難指示解除準備区域内の路線数（県管理道路）	5 路線	
うち被災した路線（工区）数	5 路線	24 箇所
うち本復旧を実施する路線（工区）数	5 路線	24 箇所

② 復旧の予定

被災箇所5路線24箇所については、平成25年迄に災害査定を受検しており、12箇所が本復旧を完了している。地震災は平成26年度、津波災は平成27年度の完了を目指す。

③ 平成25年度における成果

24箇所のうち、12箇所が本復旧を完了した。

④ 平成26年度の成果目標

地震災3箇所の本復旧の完了を目指す。
津波災3箇所の本復旧工事に着手する。

○飯舘村エリアの県管理道路

① 道路の状況

避難指示解除準備区域及び居住制限区域内の路線数（県管理道路）	5 路線	
うち被災した路線（工区）数	5 路線	31 箇所
うち本復旧を実施する路線（工区）数	5 路線	31 箇所

② 復旧の予定

被災した31箇所のうち2箇所で災害査定を受検し、本復旧を完了している。今後は、特に片側交互通行箇所の復旧を優先して進める。災害査定から概ね3年での完了を目指す。

③ 平成25年度における成果

平成23年度に災害査定を受検した5路線8箇所のうち、避難指示解除準備区域の1路線2箇所について本復旧が完了した。残る居住制限区域の4路線6箇所については、本復旧工事着手に向けて関係機関と協議を行った。

④ 平成26年度の成果目標

避難指示解除準備区域の残る7箇所及び居住制限区域16箇所について、関係機関と調整を図り、災害査定を受検し、本復旧工事に着手する。災害査定を受検した居住制限区域の本復旧工事（4路線6箇所）について、年度内完了を図る。

⑤ その他

上記のほか、帰還困難区域に9箇所の被災を確認しているが、関係機関と調整を図りながら復旧方針を決定し、優先度の高い箇所から復旧に努める。

○富岡町エリアの県管理道路

① 道路の状況

避難指示解除準備区域及び居住制限区域内の路線数（県管理道路）	7路線
うち被災した路線（工区）数	7路線 23箇所
うち応急対策を実施した路線（工区）数	1路線 2箇所
うち本復旧を実施する路線（工区）数	7路線 23箇所

② 復旧の予定

被災箇所のうち6路線18箇所については、平成25年迄に災害査定を受検しており、関係機関との調整を要する箇所を除き平成26年度の完了を目指す。津波被災地の被害箇所は、町の復興計画に合わせ、復旧方針を決定する。

③ 平成25年度における成果

18箇所のうち4箇所が完了。

④ 平成26年度の成果目標

14箇所のうち13箇所の完了を目指す。

⑤ その他

上記のほか、帰還困難区域に10箇所の被災を確認しており、うち4箇所は平成25年度に査定を受検し平成26年度本復旧工事を予定している。残る6箇所については、関係機関と調整を図りながら復旧方針を決定し、優先度の高い箇所から復旧に努める。

○浪江町エリアの県管理道路

① 道路の状況

避難指示解除準備及び居住制限区域内の路線数（県管理道路）	9路線
うち被災した路線（工区）数	9路線 34箇所
うち本復旧を実施する路線（工区）数	9路線 34箇所

② 復旧の予定

避難指示解除準備区域の被災箇所7路線20箇所は、平成25年度に災害査定を受検しており、準備が整った箇所から速やかに本復旧工事に着手する。

地震災は災害査定から概ね3年、津波災は今後策定される復興計画との整合を図りながら、災害査定から概ね5年での完了を目指す。

③ 平成25年度の成果

避難指示解除準備区域の被災箇所7路線20箇所について、12月までに災害査定を受検した。

居住制限区域及び帰還困難区域において、道路状況撮影車両による被災状況の調査を行い、被災状況を図化した。

④ 平成26年度の成果目標

避難指示解除準備区域の被災箇所7路線20箇所について、着手可能な箇所から速やかに本復旧工事に着手する。

⑤ その他

上記のほか、帰還困難区域に40箇所の被災を確認しているが、関係機関と調整を図りながら復旧方針を決定し、優先度の高い箇所から復旧に努める。

○葛尾村エリアの県管理道路

① 道路の状況

避難指示解除準備区域内の路線数（県管理道路）	4路線
うち被災した路線数	4路線 17箇所
うち本復旧を実施する路線（工区）数	4路線 17箇所

② 復旧の予定

4路線12箇所については、平成23年迄に災害査定を受検しており、平成25年度に完了した。災害査定から概ね3年での完了を目指す。

③ 平成25年度における成果

4路線12箇所が完了。

④ 平成26年度の成果目標

残る箇所について災害査定を受検し、本復旧工事の着手を目指す。

⑤ その他

上記のほか、帰還困難区域に4箇所の被災を確認しているが、関係機関と調整を図りながら復旧方針を決定し、優先度の高い箇所から復旧に努める。

○川俣町エリアの県管理道路

① 道路の状況

避難指示解除準備区域及び居住制限区域内の路線数（県管理道路）	3路線
うち被災した路線（工区）数	3路線 11箇所
うち本復旧を実施する路線（工区）数	3路線 11箇所

②復旧の予定

復旧箇所の放射線量が高く、掘削残土を地区外に移動出来ない。また、残土処分地の見通しが立っていないことから事業は未着手となっている。

今後、町などの関係機関と調整を図り、残土処分方法が決定次第、本復旧工事を実施する。

(県管理道路の整備 (改良))

○広野町エリアの県管理道路

県道広野小高線の整備 (北迫工区 1)

- ① 整備の予定
広野町大字下浅見川地内～広野町大字下北迫地内の延長L＝約1.7kmの道路改良工事。
平成27年度の完成を目指す。
- ② 平成25年度における成果
詳細設計を実施。
工事に着手。
- ③ 平成26年度の成果目標
用地取得を進めながら平成27年度の完了を目指して工事を進める。

県道広野小高線の整備 (北迫工区 2)

- ① 整備の予定
広野町大字下北迫地内～広野町大字下北迫地内の延長L＝約1.1kmの道路改良工事。
平成27年度の完成を目指す。
- ② 平成25年度における成果
用地取得完了。
- ③ 平成26年度の成果目標
道路改良工事の推進。

○川内村エリアの県管理道路

県道小野富岡線の整備 (西ノ内工区)

- ① 整備の予定
県道小野富岡線 (西ノ内工区) の道路改良工事
平成30年代前半の完成を目指す。
- ② 平成25年度における成果
地元説明会、西ノ内地内の路線測量、道路詳細設計、用地測量を実施。
- ③ 平成26年度の成果目標
西ノ内地内の用地取得、早渡地区の地質調査、道路予備設計の実施。

県道小野富岡線の整備 (五枚沢 1 工区)

- ① 整備の予定
川内村大字下川内地内～川内村大字下川内地内の延長L＝約2.7kmの道路改良工事。
平成30年代前半の完成を目指す。
- ② 平成25年度における成果

(仮称) 2号橋の下部工(A1)、上部工に着手。

(仮称) 五枚沢1号トンネルの発注。

③ 平成26年度の成果目標

(仮称) 五枚沢1号トンネル着工、(仮称) 1号橋の下部工上部工に着手。

県道小野富岡線の整備(五枚沢2工区)

① 整備の予定

川内村大字下川内地内～富岡町大字上手岡地内の延長L＝約1.6kmの道路改良工事。

平成30年代前半の完成を目指す。

② 平成25年度における成果

地盤調査、道路予備設計を実施。

③ 平成26年度の成果目標

道路詳細設計を実施。

県道吉間田滝根線(広瀬工区) ※田村市エリアにも記載

① 整備の予定

いわき市川前町小白井地内～小野町大字小戸神地内の延長L＝約9kmの道路改良工事。

平成30年代前半の完成を目指す。

② 平成25年度における成果

地元説明会、道路予備設計、地質調査を実施。

③ 平成26年度の成果目標

トンネル詳細設計、橋梁設計の実施、トンネル部の用地取得。

県道富岡大越線の緊急現道対策

① 整備の予定

伐木、防草板、路肩拡幅等の緊急現道対策を平成25、26年度で実施する。

② 平成25年度における成果

緊急現道対策工事を実施。

③ 平成26年度の成果目標

緊急現道対策工事の完了。

○櫛葉町エリアの県管理道路

県道小埜上郡山線の整備(井出工区)

① 整備の予定

櫛葉町大字北田地内～櫛葉町大字井出地内の延長L＝約1.7kmの道路改良工事。

平成30年代前半の完成を目指す。

② 平成25年度における成果

点検測量等の実施。

③ 平成26年度の成果目標

用地取得。道路改良工事の推進。

県道広野小高線の整備（櫛葉工区）

- ① 整備の予定
櫛葉町大字山田浜地内～櫛葉町大字北田地内の延長L＝約2.7kmの道路改良工事。
平成28年度の完成を目指す。
- ② 平成25年度における成果
詳細設計を実施。
- ③ 平成26年度の成果目標
用地取得、道路改良工事に着手。

○いわき市エリアの県管理道路

国道399号（十文字工区）

- ① 整備の予定
いわき市小川町上小川地内～いわき市小川町上小川地内の延長L＝約6.2kmの道路改良工事。
平成30年代前半の完成を目指す。
- ② 平成25年度における成果
トンネル詳細設計、道路詳細設計を実施。
- ③ 平成26年度の成果目標
トンネル設備詳細設計、用地測量、国有林野所管換申請を実施、用地取得

県道小野富岡線（吉間田工区）

- ① 全体計画
いわき市川前町下桶売地内～いわき市川前町下桶売地内の延長L＝約2.0kmの道路改良工事。
平成26年度の供用を目指す。
- ② 平成25年度における成果
（仮称）荻1・2号橋上部工に着手。
- ③ 平成26年度の成果目標
全線供用を目指す

県道小野富岡線（小白井工区）

- ① 全体計画
いわき市川前町小白井地内～いわき市川前町小白井地内の延長L＝約2.6kmの道路改良工事。
平成30年代前半の完成を目指す。
- ② 平成25年度における成果
道路詳細設計を実施。
- ③ 平成26年度の成果目標
用地測量、国有林野買受申請を実施。

○富岡町エリアの県管理道路

県道広野小高線の整備（毛萱工区）

- ① 整備の予定
県道広野小高線（毛萱工区）の道路改良工事。
早期の完成を目指す。
- ② 平成25年度における成果
道路概略設計を実施。
- ③ 平成26年度の成果目標
道路詳細設計を実施。

○田村市エリアの県管理道路

国道288号（船引バイパス）

- ① 整備の予定
田村市船引町春山地内～田村市船引町船引地内の延長L＝約4.1km区間の道路改良工事。
平成30年代前半の完成を目指す。
1工区 田村市船引町春山～田村市船引町船引 L＝2.0km
2工区 田村市船引町船引～田村市船引町船引 L＝2.1km
- ② 平成25年度における成果
1工区の道路改良工事、2工区の用地取得を実施。
- ③ 平成26年度の成果目標
1工区の供用開始、2工区の用地取得、道路改良工事に着手。

国道399号（春日前）

- ① 整備の予定
平成25年度より調査検討に着手。
- ② 平成25年度における成果
地元調整を実施。
- ③ 平成26年度の成果目標
地元調整を実施。調査設計に着手。

国道399号（掛札峠）

- ① 整備の予定
田村市都路町岩井沢地内～双葉郡葛尾村大字落合地内の延長L＝約0.6kmの道路改良工事。
平成27年度の完成を目指す。
- ② 平成25年度における成果
道路改良工事に着手。
- ③ 平成26年度の成果目標
道路改良工事の推進。

県道吉間田滝根線（広瀬工区）※川内村エリアにも記載

- ① 整備の予定

いわき市川前町小白井地内～小野町大字小戸神地内の延長L＝約9 kmの道路改良工事。

平成30年代前半の完成を目指す。

- ② 平成25年度における成果
地元説明会、道路予備設計、地質調査を実施。
- ③ 平成26年度の成果目標
トンネル詳細設計、橋梁設計の実施、トンネル部の用地取得。

○川俣町エリアの県管理道路

国道114号（小綱木工区）

①整備の予定

川俣町小綱木地内の延長L＝約2.6 kmの道路改良工事。

平成26年内の供用開始を目指す。

②平成25年度における成果

小綱木トンネルを含む1工区L＝約1.6 kmの供用開始。

③平成26年度の成果目標

道路改良工、舗装工を実施し、2工区L＝約1.0 kmを平成26年内に供用開始する。

国道114号（山木屋1・3工区）

①整備の予定

川俣町小綱木地内（1工区）の延長L＝約3.0 km及び川俣町山木屋地内（3工区）の延長L＝約5.3 kmの道路改良工事。

平成30年代前半の完成を目指す。

②平成25年度における成果

航測図化、地表踏査、道路概略設計を実施。

③平成26年度の成果目標

道路予備設計、地質調査、路線測量、道路詳細設計を実施。

国道349号（大綱木工区）

①整備の予定

川俣町大綱木地内～川俣町字仁井町地内の延長L＝約4.3 kmの道路改良工事。

平成30年代前半の完了を目指す。

②平成25年度における成果

起点側延長L＝約2.0 km（1工区）の道路予備設計、路線測量、道路詳細設計等を実施。

③平成26年度の成果目標

1工区の用地測量、物件調査、用地取得、一部工事を実施。

県道原町川俣線（飯坂工区）

①整備の予定

川俣町飯坂地内の延長L＝約0.7 kmの道路改良工事。

平成30年代前半の完了を目指す。

②平成25年度における成果

道路予備設計、路線測量、道路詳細設計、橋梁詳細設計等を実施。

③平成26年度の成果目標

用地測量、物件調査、用地取得を実施。

インフラ復旧の工程表(道路)

平成26年3月末現在

→ : 工程が見込めるもの ●.....▶ : 工程が現時点で見込みにくいもの

事業	整備主体	被災/稼働状況	H25年度に実施したこと(成果)	H26年度に実施すること(目標)	26年度				27年度				28年度				H29年度以降	備考・ポイント等
					4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月		
道路の復旧																		
常磐自動車道	東日本高速道路株	平成23年4月28日までに一般車両通行可能(原発警戒区域内は、平成23年4月29日までに緊急車両通行可能)	旧警戒区域にかかる常磐道広野IC～常磐富岡ICについて、平成26年2月22日に本復旧完了(再開通)	常磐道の整備工事区間について、相馬IC～山元IC間はH26年内を再開通目標。また旧警戒区域内の浪江IC～南相馬IC間についてもH26年内を再開通目標。	相馬IC～山元IC、及び旧警戒区域内の浪江IC～南相馬ICの整備工事 旧警戒区域内の常磐富岡IC～浪江ICの整備工事													旧警戒区域にかかる区間について、環境省が実施する除染工事が、平成26年6月に完了。うち広野IC～常磐富岡ICについては、平成26年2月22日の再開通に際し「除染方針」(※)の目標の空間線量率を大きく下回っていることが確認された。 ※平成24年6月時点の路面上の空間線量率が毎時3.8マイクロシーベルト(年間23リシーベルト相当)超～毎時9.5マイクロシーベルト(年間50リシーベルト相当)以下の箇所は概ね毎時3.8マイクロシーベルト以下に、毎時9.5マイクロシーベルトの箇所は概ね毎時9.5マイクロシーベルト以下にする。
一般国道6号	国	平成23年4月10日までに福島第一原子力発電所警戒区域を除き通行可能。原発警戒区域内は、平成23年12月26日までに2車線を確保。	平成25年度内に本復旧が完了した。															
県管理道路 南相馬市エリア																		
県道12号 原町川俣線(地震)	県(土木部)	平成24年度に工事完了路面亀裂	-	-														工事完了
県道34号 相馬浪江線 他8路線(地震)	県(土木部)	路面亀裂など	災害復旧工事の実施に向けた調整 災害復旧工事の実施	災害復旧工事の実施に向けた調整 災害復旧工事の実施	本復旧工事													平成26年度内の工事完了を目指す。
県道255号 幾世橋小高線 他3路線(津波)	県(土木部)	路面流出など	災害復旧工事の実施に向けた調整 災害復旧工事の実施	災害復旧工事の実施に向けた調整 災害復旧工事の実施	関係機関との協議 本復旧工事													関係機関との協議調整を図り、平成28年度の完成を目指す。
県管理道路 広野町エリア																		
県道393号 上北泊下北泊線 他1路線(地震)	県(土木部)	地震による被災(道路)	-	-														工事完成
県道391号 広野小高線(津波)	県(土木部)	津波による被災(道路)	-	-														工事完成
県道391号 広野小高線北釜橋梁	県(土木部)	津波より上部工流失(橋梁)	-	-														工事完成
県道広野小高線北泊工区1	県(土木部)	-	詳細設計 用地取得 工事	用地取得 工事	用地取得 工事													平成27年度の完成を目指す。
県道広野小高線北泊工区2	県(土木部)	-	用地取得完了	工事	工事													平成27年度の完成を目指す。
県管理道路 田村市エリア																		
国道288号	県(土木部)	路面クラック																工事完成
国道288号(船引バイパス)	県(土木部)	-	1工区:道路改良工事 2工区:用地取得	1工区:供用開始 2工区:用地取得、改良工事着手	調査・設計、用地取得、工事													平成30年代前半の完成を目指す。
国道399号(春日前)	県(土木部)	-	地元調整	地元調整、調査設計	地元調整、調査設計													
国道399号(掛札峠)	県(土木部)	-	道路改良工事に着手	道路改良工事の推進	工事													平成27年度の完成を目指す。
県道吉間田滝根線(広瀬工区)	県(土木部)	-	調査・設計	調査・設計・トンネル部用地取得	調査・設計													平成30年代前半の完成を目指す。

●→ : 工程が見込めるもの ●.....▶ : 工程が現時点で見込みにくいもの

事業	整備主体	被災/稼働状況	H25年度に実施したこと(成果)	H26年度に実施すること(目標)	26年度				27年度				28年度				H29年度以降	備考・ポイント等
					4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月		
県管理道路 橋本町エリア																		
県道35号 いわき浪江線 他4路線	県(土木部)	路面陥没、路面亀裂、路面流出	24箇所のうち、12箇所が完了	地震災3箇所の完了を目指す。 津波災3箇所の工事に着手する。	●→ 本復旧工事(地震災)				●→ 本復旧工事(津波災)									
県道391号 広野小高線	県(土木部)	落橋	災害査定を実施	工事に着手する	●→ 調査・設計				●→ 工事									井出川(河川災)との工程調整が必要
県道小橋上郡山線 井出工区	県(土木部)	—	地元調整、点検測量	用地取得、工事推進	●→ 用地取得				●→ 工事				●.....▶					平成30年代前半の完成を目指す。
県道広野小高線 橋本工区	県(土木部)	—	調査・設計	用地取得、工事着手	●→ 用地取得				●→ 工事				●.....▶					平成28年度の完成を目指す。
県管理道路 飯館村エリア																		
県道268号 草野大倉鹿島線	県(土木部)	路面亀裂 H23年度に災害査定済	災害復旧工事の完了	—														
国道399号 他3路線 (居住制限区域)	県(土木部)	路面亀裂 H23年度に災害査定済	関係機関との調整	災害復旧工事の実施	●→ 本復旧工事													平成26年度内の工事完了を目指す。
国道399号 他1路線 (拂還困難区域)	県(土木部)	路面亀裂 H23年度に災害査定済	—	—														放射線量の減衰状況を見極めながら復旧に着手する。
県管理道路 富岡町エリア																		
県道35号いわき浪江線 他6 路線	県(土木部)	路面陥没、路面亀裂、路面流出	6路線22箇所は、査定を実施。 22箇所のうち4箇所が完了。	14箇所のうち13箇所の完了を目指す。	●→ 工事													
県管理道路 (拂還困難区域)	県(土木部)	路面陥没、路面亀裂、路面流出	小野富岡線4箇所の災害査定を受検	災害査定を受検した4箇所の本復旧を目指す。	●→ 本復旧工事				●.....▶				●.....▶					拂還困難箇所の被災箇所については、関係機関と調整を図りながら復旧方針を決定し、優先度の高い箇所から復旧に努める。
県道広野小高線 毛笠工区	県(土木部)	—	道路概略設計を実施。	道路詳細設計を実施。	●→ 設計				●.....▶				●.....▶					
県管理道路 浪江町エリア																		
県管理道路 (津波被災地区) 長塚請戸浪江線 他1路線	県(土木部)	路面陥没、路面亀裂、路面流出	災害査定の実施 災害復旧工事着手に向けた調整	災害復旧工事着手に向けた調整 災害復旧工事	●→ 地元調整・詳細設計・国協議・用地取得				●→ 本復旧工事				●.....▶					着手可能な箇所から速やかに工事に着手し、早期の復旧を目指す。
県管理道路 (避難指示解除準備区域) 国道114号 他6路線	県(土木部)	路面陥没、路面亀裂	災害査定の実施 災害復旧工事着手に向けた調整	災害復旧工事着手に向けた調整 災害復旧工事	●→ 地元調整				●→ 本復旧工事				●.....▶					着手可能な箇所から速やかに工事に着手し、平成27年度の完了を目指す
県管理道路 (居住制限区域) 相馬浪江線 他2路線	県(土木部)	路面陥没、路面亀裂	道路撮影車両による被災状況調査	—	●→ 調査・設計・災害査定・本復旧工事				●.....▶				●.....▶					被災箇所の調査が未了であり、除染を含めた線量の減衰を見極めながら、可能な区域より調査及び工事を行う。本復旧工事の完了については、査定後に概ね3年での完了を目指す。
県管理道路 (拂還困難区域) 調査中	県(土木部)	路面陥没、路面亀裂	道路撮影車両による被災状況調査	—														放射線量の減衰状況を見極めながら復旧に着手する。

●→ : 工程が見込めるもの ●.....▶ : 工程が現時点で見込みにくいもの

事業	整備主体	被災/稼働状況	H25年度に実施したこと(成果)	H26年度に実施すること(目標)	26年度				27年度				28年度				H29年度以降	備考・ポイント等	
					4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月			
県管理道路 葛尾村エリア																			
県管理道路 国道399号他3路線	県(土木部)	路面陥没、路面亀裂	4路線12箇所が完了。	災害査定を受検し、本復旧工事の着手を目指す	調査・設計・災害査定・本復旧工事														
県管理道路 (綿遠困難区域)	県(土木部)	未確認																	帰還困難箇所の被災箇所については、関係機関と調整を図りながら復旧方針を決定し、優先度の高い箇所から復旧に努める。
県管理道路 川俣町エリア																			
県管理道路 国道459号他2路線	県	舗装亀裂		残土処分地及び処理方法が決定次第、復旧工事に着手	地元調整 → 工事														
県管理道路 国道114号 (小綱木工区)	県		1工区L=約1.6kmの供用開始	道路改良工、舗装工を実施し、2工区L=約1.0kmを平成26年内に供用開始する	工事														平成26年度の完了を目指す。
県管理道路 国道114号 (山木屋1・3工区)	県		航測図化、地表踏査、道路概略設計を実施	道路予備設計、地質調査、路線測量、道路詳細設計を実施	道路詳細設計等 → 用地測量・物件調査 → 用地取得 → 工事														平成30年代前半の完了を目指す。
県管理道路 国道349号 (大綱木工区)	県		1工区の道路予備設計、路線測量、道路詳細設計を実施	1工区の用地測量、物件調査、用地取得、一部工事を実施。	用地測量・物件調査 → 用地取得・工事														平成30年代前半の完了を目指す。
県管理道路 飯町川俣線 (飯坂工区)	県		道路予備設計、路線測量、道路詳細設計、橋梁詳細設計を実施	用地測量、物件調査、用地取得を実施。	用地測量・物件調査 → 用地取得 → 工事														平成30年代前半の完了を目指す。
県管理道路 川内村エリア																			
県道小野富岡線 西ノ内工区	県(土木部)		調査・設計	調査・設計・用地取得・工事	調査・設計、用地取得、工事 → 用地取得、工事														平成30年代前半の完成を目指す。
県道小野富岡線 五枚沢1工区	県(土木部)	原子力発電所事故により工事休止	用地取得・工事	用地取得・工事	用地取得、工事														平成30年代前半の完成を目指す。
県道小野富岡線 五枚沢2工区	県(土木部)		調査・設計	調査・設計	調査・設計 → 調査・設計、用地取得、工事														平成30年代前半の完成を目指す。
県道吉間田滝根線 (広瀬工区)	県(土木部)	—	調査・設計	調査・設計・トンネル部用地取得	調査・設計、用地取得 → 調査・設計、用地取得、工事														平成30年代前半の完成を目指す。
県道富岡大越線 緊急現道対策	県(土木部)	—	伐木、防草板、路肩拡幅等の緊急現道対策工事を実施。	伐木、防草板、路肩拡幅等の緊急現道対策工事を完了。	緊急現道対策工事														
県管理道路 いわきエリア																			
国道399号 (十文字工区)	県(土木部)	—	調査・設計	調査・設計・用地測量・用地取得	調査・設計、用地測量、用地取得 → 用地取得、工事														平成30年代前半の完成を目指す。
小野富岡線 (吉間田工区)	県(土木部)	—	工事	工事	工事														平成26年度の供用を目指す。
小野富岡線 (小白井工区)	県(土木部)	—	調査・設計	用地調査	用地調査 → 用地取得・工事														平成30年代前半の完成を目指す。

※本工程表に記載の内容については軽微な修正を行う場合があります。